

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

1階 リハビリ 津田 雅美

6月26日に通所と2、3階の利用者合同で園芸活動を行いました。

当日は天気にも恵まれ、暖かな日差しのもとプランターにはミニトマトの苗を、花壇には日日草やマリーゴールドの苗、そして百日草やひまわりの種を植えました。

鍬で土を耕しシャベルや手で穴を掘り苗や種を植え、参加された方々は真剣な表情で取り組まれていました。

今は各階が持ち回りで朝と夕に水やりをしています。日々成長する草花の姿を見るのが楽しみです。



2階 介護 佐々木 健一

7月4日に併設の病院と合同で、火事を想定した防災避難訓練を行いました。

消防職員立ち合いのもと、職員と利用者そして患者の皆様が一丸となり、訓練に取り組みました。

最近では様々な場所で地震や大雨などの災害が起こっています。いざと言う時に困らず、



迅速に対応できるよう定期的に訓練を行い、利用者皆様の安全と安心を確保できるように努力していきたいと思っております。

3階 看護 佐藤 昭子

7月中は関東で日照不足、九州では記録的な大雨があり、異常とも思えるような天候が続きました。そして秋田では早くも連日気温が30℃を超え、うだるような蒸し暑い日が続いています。

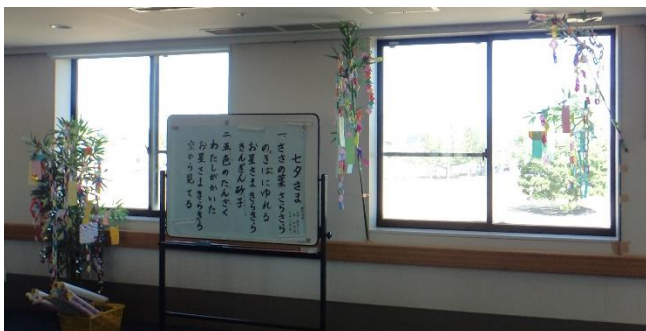
利用者の中にはエアコン嫌いの方も多いたですが、室温や湿度の調節を行いながら生活環境を整え、脱水や熱中症に注意していきたいと思えます。利用者の皆様には、暑い毎日を快適に過ごしていただけるよう日々支援していきたいと思えます。



3階 介護 佐々木 大輔

7月10日に七夕会を行いました。会の前半は利用者皆様の願いが込められた短冊や七夕飾りを笹の葉に飾りました。「あれは私が書いた」「この飾りは俺が作ったんだ」と話しながら、楽しそうに飾り付けを行っていました。

後半は、職員のピアノ伴奏に合わせて七夕にちなんだ歌を歌いました。利用者の皆様は手拍子をしたり、大きな声で楽しそうに歌われており、沢山の願いと笑顔にあふれた七夕会となりました。



相談室 佐藤 友美

下記の保険証類で更新されたものがご自宅にございましたら、事務窓口までお持ちいただきますようお願いいたします。

- ① 介護保険負担割合証
- ② 後期高齢者医療被保険者証
- ③ 福祉医療費受給者証
- ④ 後期高齢者医療限度額適用・標準負担額認定証
- ⑤ 国民健康保険限度額適用・標準負担額認定証

また、介護保険負担限度額認定の手続きがお済みでない方は、早めの手続きをお願い致します。手続きの結果、負担限度額の段階が変更となった方には、随時ご連絡致しますので宜しくお願い致します。